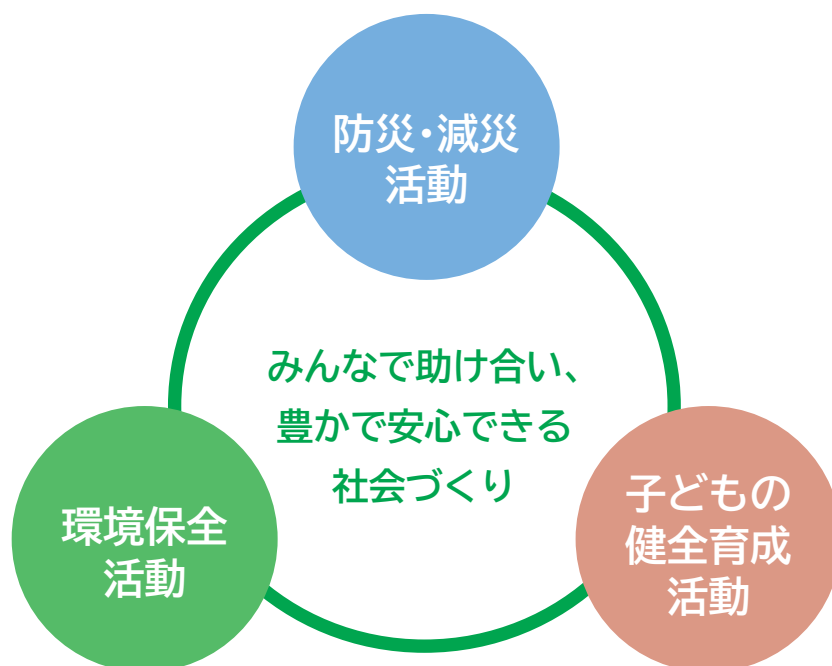


全労済 2015 年 社会貢献活動レポート

全労済の社会貢献活動

全労済の理念は、「みんなで助け合い、豊かで安心できる社会づくり」です。

私たちは、この理念に描く社会の実現のため、「防災・減災活動」「環境保全活動」「子どもの健全育成活動」の3つの重点分野を中心に、社会貢献活動に取り組んでいます。



助け合いによる保障の生協です。

「すべての子どもたちに『笑顔』を・・・。」 それが私たちの願いです。



日頃は、全労済の運動と事業の発展に向けてご支援いただくとともに、全労済の社会貢献活動へのご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。

さて、私たち全労済は、「防災・減災」「環境保全」「子どもの健全育成」の3つを重点分野として、社会貢献活動に取り組んでいます。

まず、「東日本大震災を風化させない取り組み」と称して、さまざまな活動を展開してまいりました。東日本大震災の被災地において、少しずつでも緑を回復させるとともに、子どもたちの緑を大切にしようとする心を育むために「被災地の子どもたちの森づくり支援活動」を東北地方の被災地に加え、関東地方の震災の影響の大きかった県でも実施いたしました。また、昨年に引き続き「きずな公演」を甚大な被害を受けた岩手県内にて開催し、多くの子どもたちとそこご家族に参加いただきました。

次に、2012年度より継続している「よみきかせ会」では、「やなせたかしのメルヘン絵本」のタペストリーを活用し、被災地に加え関西地方の2府県内の多くの幼稚園や保育園で開催し、子どもたちに笑顔をお届けすることができました。とりわけ、2014年度はこの「よみきかせ会」に「防災クイズ」を組み合わせ、全国3カ所の「子育てイベント」に出展し、たくさんのご家族に参加いただき、絵本の楽しさとともに防災・減災の知識の必要性を訴えました。また、昨年に引き続き「こくみん共済U-12サッカーリーグ」を通じて、全国のサッカー少年の笑顔と夢の実現に向けて応援させていただいています。

さらに、地球環境にやさしいエコ住宅に居住しながら、住宅の保障とともに社会貢献活動を目指す共済生活協同組合らしい制度である「エコ住宅専用 全労済の住まいる共済」において、東日本大震災復興事業を行う団体と子どもたちへの環境教育を展開している団体へ寄付金をお贈りすることができました。

私たち全労済は、創立60周年を迎える2017年度までの4年間の中期経営政策「Zetwork-60」で掲げた「人と人」「人と社会」「人と自然」の結びつきを高めつつ、全労済の理念である「みんなでたすけあい、豊かで安心できる社会づくり」を実践し、これからも積極的に社会貢献活動に取り組んでまいります。引き続きのご支援・ご協力をお願いします。

2015年7月

全労済
代表理事 理事長

中世古 廣司



被災地の子どもたちの 森づくり支援活動

全労済は、環境保全活動において「公益社団法人 国土緑化推進機構」とパートナーシップを組んでおり、2013年12月からは同機構が実施する「震災地域における学校教育環境向上のための緑化事業」を通して、当該地域で緑化活動を行う児童の組織、「緑の少年団」をサポートしています。東日本大震災の被災地では、特に沿岸部の海岸林が津波により壊滅的な被害を受けるなど、震災を機に緑が減少しました。全労済では、被災地の緑を回復し、子どもたちの緑を大切にす「こころ」を育てる目的で、植樹のための木々や、活動用のユニホームを寄贈するなどの取り組みを行っています。

2014年
11月13日

岩手県一関市立
室根東小学校

ナナカマド



2014年
12月9日

栃木県さくら市立
上松山小学校

アカヤシオ
シロヤシオ



2015年
11月16日

茨城県潮来市立
牛堀小学校

ミカン



2015年
3月3日

千葉県流山市立
東小学校

シイ



2015年
3月5日

福島県相馬市立
大野小学校

ブラタナス



2015年
5月25日

宮城県登米市立
横山小学校

ハナミズキ



東日本大震災を風化させない取り組み

きずな公演（釜石公演）

やなせたかしの
メルヘン絵本



2015年2月28日(土)、岩手県釜石市のイオンタウン釜石にて被災した釜石市および周辺市町村の子どもたちとそのご家族などのために「きずな公演」を開催しました。きずな公演は一昨年の東京都、昨年の福島県に続いて3回目の開催です。

公演は第1部が「劇団目覚時計」による「やなせたかしのメルヘン絵本」をミュージカル仕立てにした公演、第2部は「ミュージック・ボックス」による楽器の演奏会を行いました。約200名の親子連れが来場され、会場はたくさんの笑顔であふれました。



劇団目覚時計



ミュージック・ボックス



東日本大震災復興支援チャリティー 緑の募金 きずなコンサート2015

全労済が協賛する「きずなコンサート2015」が、2015年3月14日(土)に全労済ホール/スペース・ゼロにおいて開催され、350名余りの方が参加しました。第1部は音楽を通じた被災地支援に精力的に取り組まれているシンガーソングライターの普天間かおりさん。第2部はソプラノヴォイスの和田由貴さんをゲストに迎え、菅野祐悟 with ストリングスカルテット。菅野祐悟さんはNHK大河ドラマ「軍師官兵衛」など数多くのテレビドラマや映画の音楽を手掛けています。このコンサートで集まった募金は主催した「公益社団法人 国土緑化推進機構」を通じて被災地の緑化や防災林等の整備に充てられます。



普天間かおりさん



菅野祐悟 with ストリングスカルテット



子どもの健全育成活動と防災・減災活動

「子どもの健全育成活動」として、今年は昨年に続き U-12サッカーリーグの応援と新たに「子育てイベント」への出展をしました。「子育てイベント」ではよみきかせ会とあわせて防災クイズを実施し、防災・減災について家族で楽しく学べる場を提供しました。

こくみん共済 U-12サッカーリーグ



公益財団法人 日本サッカー協会(JFA)の「Players First! (関わる大人が力を合わせて子どもたちに理想の環境を!)」の考えに賛同し、JFAが主催する「こくみん共済 U-12サッカーリーグ」に2013年から特別協賛しています。



「子育て応援団すこやか」のイベント主旨について

子育て支援に対する意識を高め、安心して家庭を築き、子どもを産み育てることに希望を持てる社会づくりを目指しています。その主旨は、全労済の社会貢献活動の「子どもの健全育成分野」と「防災・減災分野」と一致しています。

子育て応援団すこやかあきた2014

2014年7月26日(土)～27日(日)に秋田県立武道館にて開催された「子育て応援団すこやかあきた2014」に「全労済のよみきかせ会」と「家族で考える防災クイズ」を出展しました。両日合わせて、よみきかせ会には219名、防災クイズには992名が参加しました。「よみきかせ会」では絵本の読み聞かせと紙芝居を行い、子どもたちに楽しい時間を過ごしてもらいました。



子育て応援団すこやかふくい2014

2014年11月29日(土)～30日(日)に福井県産業会館にて開催された「子育て応援団すこやかふくい2014」に「全労済のよみきかせ会」と「家族で考える防災クイズ」を出展しました。両日合わせて、よみきかせ会には1,650名、防災クイズには2,781名が参加しました。「よみきかせ会」はメインステージ上に「やなせたかしのメルヘン絵本」の絵を大きくしたものを飾りました。とても上手な読み聞かせに子どもも大人も聞き入りました。



子育て応援団すこやか2015(広島)

2015年5月23日(土)～24日(日)に広島グリーンアリーナにて開催された「子育て応援団すこやか2015」に「全労済プレゼンツ絵本のよみきかせ」と「ぼうさいクイズ」を出展しました。両日合わせて、よみきかせ会には238名、ぼうさいクイズには4,754名が参加しました。「ぼうさいクイズ」ではたくさんの親子がクイズに真剣に取り組んでいました。



環境保全活動



社会貢献付エコ住宅専用火災共済

全労済では、2008年1月の「社会貢献付エコ住宅専用火災共済」※の取り扱い開始以降、環境活動団体へ寄付を実施しています。昨年に引き続き「公益社団法人 国土緑化推進機構」と新たに「公益財団法人 日本環境協会」の2団体へ総額1,300万円の贈呈を行いました。

※ 2015年2月1日より「社会貢献付エコ住宅専用火災共済」は「エコ住宅専用 全労済の住まい共済」に変わりました。

役職員ボランティア



広島土砂災害に対する義援金贈呈

全労済では、「8月19日からの広島県における大雨による土砂災害」に対し、2014年9月8日～9月30日の間、全労済グループで働く役職員等による募金活動を実施しました。全国より集められた募金に労済労連をはじめとする労働組合からの拠出金等を合わせた総額600万円を、2014年10月16日に広島県へ贈呈しました。

社会福祉団体への寄付



全労済では、1981年より障がい者を対象とした支援活動、高齢者を対象とした支援活動、災害対策を対象とした支援活動を行っている社会福祉法人などの団体へ、継続して支援を行っています。2014年度も外部有識者等による審査委員会にて以下の25団体を選定し助成金を交付しました。

	団体名	事業名
1	一般社団法人 全国福祉用具専門相談員協会	ご利用者を対象にした福祉用具モニタリングの普及啓発事業
2	一般社団法人 日本福祉用具供給協会	骨関節疾患及び廃用症候群に対する、適切な福祉用具サービス提供のための留意点・ポイント集作成事業
3	一般財団法人 長寿社会開発センター	新地域支援構想における高齢者の役割を探り、終末期のあり方を考える
4	公益財団法人 日本チャリティ協会	障害者の就労等促進のための事業「バラアート工房の活性化と商品開発」
5	公益財団法人 日本障害者リハビリテーション協会	我が国のソーシャル・ファームのあり方についてのシンポジウム開催事業－フィンランドのソーシャル・ファーム制度を参考に－
6	社会福祉法人 日本点字図書館	視覚障害者の情報収集支援事業
7	社会福祉法人 視覚障害者支援総合センター	視覚障害者の職域拡大のための調査プロジェクト
8	社会福祉法人 全国盲ろう者協会	「全国盲ろう者大会」の開催
9	社会福祉法人 日本身体障害者団体連合会	ユニバーサル社会推進に向けた障害者の日常生活・社会参加の現状における調査事業
10	社会福祉法人 日本盲人会連合	公的機関の視覚障害者の情報提供における実態把握のための調査研究事業
11	社会福祉法人 日本盲人福祉委員会	大災害における視覚障害者支援体制の構築のための調査事業
12	社会福祉法人 日本盲人社会福祉施設協議会	日盲社協広報活動普及支援事業
13	公益財団法人 日本障がい者スポーツ協会	ジャパンパラ競技大会開催事業
14	NPO法人 日本セルフセンター	地域社会に向けた障害者就労支援事業所の情報発信支援事業
15	公益財団法人 テクノイド協会	福祉用具の安全な利用のための情報提供事業
16	一般財団法人 全日本ろうあ連盟	東京オリンピック・パラリンピックの情報保障に向けた国際手話収集
17	NPO法人 全国聴覚障害者情報提供施設協議会	難聴者・中途失聴者の地域生活向上のための支援のあり方に関する研究事業
18	社会福祉法人 日本介助犬協会	障害者が地域で住みやすい社会を目指しての介助犬普及・啓発事業
19	公益社団法人 スペシャルオリンピックス日本	全国バスケットボール大会の開催
20	社会福祉法人 聴力障害者情報文化センター	手話表現者の養成教材開発・研修事業
21	NPO法人 全国盲人福祉施設連絡協議会	高齢視覚障害者にふさわしい生活拠点と支援の在り方に関する調査・研究
22	社会福祉法人 浴風会	都市部における認知症の人の家族に対する効果的な支援・教育研修モデル事業
23	NPO法人 地域ケア政策ネットワーク	地域で認知症の人を見守り、支えるための対応力向上を図る事業
24	NPO法人 日本せきずい基金	脊髄再生国際シンポジウム開催事業
25	NPO法人 シャイン・サポート	病院を退院する高齢者や子どもへの地域移行支援事業

全労済地域貢献助成事業



全労済では社会貢献活動の一環として、1992年より環境問題などに取り組む団体を対象に助成事業を継続して行っています。2015年は、「未来の子どもたちに豊かな自然を残すために、今と未来を生きる子どもたちのために」をテーマに全国の環境活動および子育て・子育て支援活動にかかわる NPO や市民活動団体等に総額約2,000万円を助成しました。

《2015年助成団体》

No.	都道府県	団体名	No.	都道府県	団体名
1	北海道	自然体験活動指導者ネットワークえんりっと	38	静岡県	はままつチャイルドライン
2	北海道	大雪山マルハナバチ市民ネットワーク	39	静岡県	NPO法人 子育てサークルネットしずおか
3	北海道	FLEAD	40	富山県	子育てサークル メーブルシロップ
4	北海道	札幌 feeling 子育ての会	41	石川県	NPO法人 奥能登日置らい
5	青森県	むがしっこ語る会 ゆきん子	42	福井県	ふくい森の子自然学校
6	青森県	NPO法人 子育て応援隊 ココネットあおもり	43	愛知県	みよしプレーパーク
7	青森県	NPO法人 あおもり若者プロジェクト クリエイト	44	愛知県	いえいく。会
8	宮城県	任意団体 Synapse40	45	愛知県	NPO法人 あいちかすがいっこ
9	山形県	NPO法人 サポート唯	46	愛知県	豊田市男性保育師連盟
10	福島県	半田銀山そばの会協議会	47	岐阜県	土田水辺の会
11	福島県	Atelier Pomme	48	滋賀県	NPO法人 発達障がいサポートネットでこぼこフレンズ
12	茨城県	十王川キッズクラブ	49	奈良県	いこま棚田クラブ
13	栃木県	NPO外国人支援 千の会	50	京都府	鏡田自然体験クラブ
14	栃木県	NPO法人 ウイズ	51	京都府	「ふくしま・こどもキャンプ 丹後の海」
15	埼玉県	あれあれあ	52	京都府	NPO法人 HAHATO.CO
16	埼玉県	埼玉冒険遊び場づくり連絡協議会	53	大阪府	NPO法人 はんもっく
17	千葉県	みやぞの池と坂川を活かしたまちづくり市民の会	54	大阪府	Minami こども教室実行委員会
18	千葉県	ふれあい千葉	55	大阪府	生野地区運営委員会
19	東京都	緑サポート八王子	56	兵庫県	ひょうごまちの助産師の会
20	東京都	食と子どものひろば三芳村	57	兵庫県	イキル応援プロジェクト Life Power
21	東京都	すがお遊び場づくりクラブ	58	島根県	NPO法人 しまね体験活動支援センター
22	東京都	NPO法人 NGO フク21ふらっとホーム	59	鳥取県	キャンドルナイト in 境港実行委員会
23	東京都	NPO法人 福島こども保養プロジェクト・練馬	60	岡山県	あそびのさち おひさま
24	東京都	NPO法人 台東区の子育てを支え合うネットワーク	61	広島県	NPO法人 フリースクール木のねっこ
25	東京都	大田おもちゃライブラリー「じゃりかふえ」	62	徳島県	NPO法人 里山の風景をつくる会
26	東京都	らっこの会	63	香川県	海守さぬき会
27	東京都	NPO法人 てのひら・人身売買に立ち向かう会	64	香川県	NPO グリーンコンシューマー高松
28	東京都	のんきサロン ぶひぶひ	65	愛媛県	Eince 子供応援隊
29	東京都	トロールの森実行委員会	66	高知県	『地球村』高知
30	神奈川県	NPO法人 よこはま・七つ星	67	福岡県	Little Hands
31	神奈川県	TIE トマトマの会	68	佐賀県	佐賀地区 BBS 会
32	神奈川県	片倉うさぎ山公園あそび場管理運営委員会	69	長崎県	ながさき海援隊
33	新潟県	NPO法人 溪流再生フォーラム	70	熊本県	ツナガリアートプロジェクト
34	新潟県	保育ボランティアグループ カンガルー	71	大分県	ハートフルウェーブ
35	新潟県	フォルトネット(未来を担う子どもたちへのつながり)	72	鹿児島県	NPO法人 Rin かごしま
36	長野県	CHUKO らんどチノチノこども運営委員会	73	沖縄県	NPO法人 宮古島の環境ネットワーク
37	山梨県	多文化社会の保健医療を考える会 JUNTOS			

全国の事業所での活動



全国の事業所で展開された2014年度の主な社会貢献活動をご紹介します。

● 福島県本部

- ・「第8回全労済還暦軟式野球大会」開催



● 東日本事業本部

- ・「第42回全労済小学生作品コンクール」開催

● 栃木県本部

- ・特別養護老人ホーム「元気の里」介護ボランティア
- ・JR東労組「旅のプレゼント」にて障がい児の同行ボランティア

● 埼玉県本部

- ・「全労済カップ争奪第40回埼玉県スポーツ少年団小学生軟式野球交流大会」への特別協賛

● 東京都本部

- ・東日本大震災被災地支援、防災・減災啓発「備え～るフェア2015」開催



- ・「ジュニアスポーツドリームチャレンジ (JSDC) 2015」への特別協賛

● 長野県本部

- ・「釘子明講演会」「坂ちゃんと中村雅俊 絆・忘れないトーク&ライブ」開催

● 山梨県本部

- ・参加料がYMCAの障がい児支援活動に充てられる「第17回山梨チャリティラン2014」への参加

● 新潟県総合生協

- ・東日本大震災復興支援「さくら並木プロジェクト」苗木の贈呈と植樹活動



● 中日本事業本部

- ・ペットボトル等、飲物容器の分別回収と完全リサイクル、およびキャップ収集によるワクチン寄贈への協力

● 愛知県本部

- ・東日本大震災復興チャリティイベントによる募金活動



● 岐阜県本部

- ・子ども向け劇団公演への助成

● 三重県本部

- ・三重県の環境保全活動「企業の森」に参画し、2008年に実施した植栽の補植および保全契約の継続

● 滋賀県本部

- ・「第25回びわ湖クリーンフィッシング大会」への後援

● 京都府本部

- ・「私の好きな木-樹木と文化 IN KYOTO 2014-」への後援

● 大阪府本部

- ・「全労済春の子ども写生大会」開催

● 兵庫県本部

- ・障がい者アート展「もともちハートミュージアム」への協賛

● 島根県本部

- ・「第68回島根県中学校優勝野球大会」への特別協賛

● 岡山県本部

- ・SON(スペシャルオリンピックス日本)・岡山 地区大会のボランティアスタッフ



● 広島県本部

- ・新入児童へのランドセルカバーの贈呈(2,000名)

● 福岡県本部

- ・「暮らしと遊びの夏休み」研修旅行宮城県の子どもたちを福津市へ招き地元の子どもたちとの交流をはじめとした各イベント開催

● 本部・本部部門

- ・「海の森 秋の植樹まつり」にて植樹ボランティアに参加
- ・日本赤十字社「団体献血活動」実施
- ・「外貨コイン仕分けプログラム」ボランティア実施
- ・「TABLE FOR TWO」プログラムへの参加



[お問い合わせ先]

全労済 総務部 社会貢献推進課

〒151-8571 東京都渋谷区代々木2-12-10

TEL: 03-3299-0161(代) FAX: 03-5351-7772

ホームページ: <http://www.zenrosai.coop>

保障のことなら

全労済

全国労働者共済生活協同組合連合会

2015年7月発行